

単  
元  
名

# もののなまえをいってみよう おぼえよう

教科書出版社名 ( フレーベル館 )

○ 小学校 ( 1 ) 年・支援学級 教科等 ( 国語 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・知っている言葉、初めて聞く言葉を発声する力を身につける。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・いろいろな言葉や物を知ることによって新しい世界を広げることができる。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…いろいろな絵や写真に触れる機会を持つ。

●整理・分析…色々な物を種類に分類する。

●まとめ・表現・発信…覚えた物を使って、お店屋さんやカード遊びをする。

○ 学習の展開 (全3時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

(単元の流れを簡潔に記入してください)

第1次 ☆	絵本を自由に読み、興味をもった単語を見つける。
第2次～3次 ☆	絵本を自由に読み、興味をもった単語を見つける。 教師の発問「これは何？」を聞き取り、答えを考える。
第4次 ☆ 本時	絵本を自由に読み、興味をもった単語を見つける。 教師の発問「これは何？」を聞き取り、答えを考える。 本に出てきた単語や物のカードを見て、答える。 お店屋さんごっこをする。

(本時4 / 4時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい  
知っている言葉を発声する喜びを実感し、新しい言葉を覚えて、発声することができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 絵本を自由に読み、興味をもった単語を見つける。	・必要以上の声はかけずに、楽しんでいる様子を見守る。
5	2. 教員の発問「これは何？」を聞き取り、答えを考える。	たくさんの物や物の名前に触れることができる。
5	3. 出されたカードに描いている絵の名前を発声する。 教員の発問「これは何？」を聞き取り、答えを考える。	答えられない場合は、発声の手本を示す。
30	4. <b>お店屋さんとお客さんになってカードを選ぶ</b> お店屋さんとお客さんのどちらにもなって、カードを選んだり、その物の名前を発声したりする。	答えられない場合は、発声の手本を示す。

図書館活用ポイント

